

比奈知小学校 校長室だより

かけはし



2023..5.22

すべての子どもが、
「おはよう」から「さようなら」まで、
安心して学べる比奈知小学校

子どもたちも生活のリズムを取り戻してまいりました。
さて、新しい環境にだんだん慣れてきた頃ですが、子どもたちは、日々の生活の中で、思いどおりにならないことにたくさん出会います。勉強のこと、遊びのこと、友だち関係など、むしろ、思いどおりにならないことの方が多いのかもしれない。

そういうときに、どのように折り合いをつけていくのか、折り合いのつけ方を学ぶことも、生きていくうえでは、とても大切なスキルだと感じます。このスキルを身につけていくためには、いろいろな体験をすること、そして、そのなかでたくさんの人と出会うことが大切だと考えます。子どもたちは、一つひとつの体験を通して、頑張る力や我慢する心、人に感謝する心など、「生きる力」を身につけていきます。思いどおりにならないことを乗り越えながら、しだいに成長していきなす。

いろいろなことにちょっと慣れてきた今、子どもたちの小さな変化にも注意していただきたいと思ひます。張り切っていた気持ちが何かでつまずいて沈んでしまったり、心ない言葉で相手を傷つけてしまったりすることもあります。子どものことを一番近くで見ている大人が、よいところを認めつつ、時期をとらえ、必要なアドバイスをしていくことが、子どもの成長には大切だと感じています。

絵本の読み聞かせが始まりました

本年度も、毎週水曜日に、ボランティアの皆さんに「読み聞かせ」を実施していただきます。新たに3名の保護者の方が加わり、学年や子どもたちの成長に合わせた絵本を選び、子どもたちの様子を見ながら読み進めて下さっています。読み聞かせには、「聞く力が向上する」「語彙が増える」「想像力が豊かになる」「豊かな情緒が育つ」など、たくさんの効果があるといわれています。



子どもたちは、絵本の世界に引き込まれ、とても良い表情をしながら聴き入っています。

学校運営協議会

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもの成長を支えていく仕組みです。名張版コミュニティ・スクールでは、学校・地域・保護者がめざす子どもの姿を共有するとともに、その実現のために「学校運営の参画」「学校支援の充実」「地域貢献の場づくり」を柱に、地域の子どもの「学び」と「育ち」にかかわる当事者として、連携・協働した取り組みを実施していきます。

学校運営協議会 委員の皆様

(コミュニティ・スクール)

佐藤 栄子 様 (ひなち地域ゆめづくり委員会会長)
(富貴ヶ丘区自治会長)

杉永 光价 様 (滝之原区長)

城内 圭子 様 (主任児童委員)

名倉 豊 様 (民生児童委員)

青山 浩久 様 (ボランティアコーディネーター)

松崎 弘明 様 (ボランティアコーディネーター)

田中 貞夫 様 (下比奈知区長)

西野 道子 様 (学童保育「ともがき」支援員リーダー)

本小 幸男 様 (富貴ヶ丘地区老人会「富貴の会」会長)

岩本 信博 様 (上長瀬区長)

福岡 美帆香 様 (2023年度PTA会長)

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

○体育学習発表会について

今日27日（土）に体育学習 発表会 を行います。ゴールデンウィーク明けより体育の時間を使って体育学習 発表会 の練習 に取り組んでいます。その様子は学年・学級 通信または、お子様から聞いていただいていると思います。先日学校より 発出 した案内文書を確認していただき、当日授業 参観をお願いします。

先の文書でもお知らせしましたように、今後も体育学習 発表会 につきましては半日開催（5限授業、振替あり）で実施していく方向です。あくまでも体育科の授業の成果を参観してもらう場として開催します。

○教科担任制の実施（高学年）

PTA総会の折にもお話ししましたが、名張市内すべての小学校 において、学校の実情 に応じて高学年における教科担任制を実施しています。例えば、6年生では、両クラスの理科を専科教員が担当したり、算数においては、各クラスを2つの少人数 に分けて各クラス単位で学習 を進めるとともに、各クラスごとの学習 には、一人の専科教員 が入り、複数の教師で授業 を実施したりする時間もあります。また、外国語（英語）の授業 は、5年生担任が指導者として両クラスに入り学習 を進めています。他には、6年担任どうしが家庭科と音楽を分担して両クラス担当するなど、学級 に担任以外の複数の教職員 が入ることで、多面的な児童理解に基づく組織的・協力的 な指導の充実 を図ることができると考えます。

○異学年集団、子どもどうし・学校と保護者・学校と地域・保護者どうし・子どもと地域等の繋がりを

3年余りのコロナ禍によって、子どもたちどうし、保護者どうし、学校と保護者（サポーター）、地域とのつながり等々、コロナ禍前のような関係性が構築しにくく、特に、子どもたちには、我慢や辛い思いをさせてきたと感じています。社会において人とのつながりが希薄している今こそ、つながり合い交流 する場が必要だと考えます。

学校では、4月末に一斉の授業 参観・学級 懇談会・PTA総会と、これまで縮 小したり中止したりしてきた行事も行いました。教育活動においては、1年生から6年生までの縦割り班による顔合わせ会も6年生がそれぞれの班で考えたレクリエーションを異学年集団 で行い、学校に子どもたちの満願の笑顔が戻ってきて、とても嬉しく思いました。今後も、学校（子ども）・家庭・地域の繋がりを再構築していきたくと考えています。

○新体力テストのサポートについて

6月1日（木）2・3限目【9：45～11：35】（木）に新体力 テストを予定（雨天の場合は延期）しています。長座体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び・ソフトボール投げ測定やボール拾い等のサポートをお願いしたいと考えています。大変お忙しい中とは存じますが、ご支援よろしくお願ひします。

野菜炒めとスクランブルエッグ(6年生)

5年生が、地域の方から田を借りて、田中区長、加藤さんのご指導のもと田植え体験をしました。収穫が楽しみです。

縦割り班
顔合わせ会

